

令和6年度第1回佐賀大学契約監視委員会議事概要

開催日時及び場所	令和6年12月20日(金) 10時～12時 本庄キャンパス本部棟2階 大会議室	
出席委員 (敬称略)	<p style="text-align: center;">○委員長 江崎 匡慶 (江崎法律事務所 弁護士)</p> <p style="text-align: center;">○委員 柿原 剛人 (柿原公認会計士事務所 公認会計士・税理士)</p> <p style="text-align: center;">川崎 文仁 (佐賀県県土整備部 建設・技術課 課長)</p>	
審議対象期間	物品・役務契約 : 令和5年10月～令和6年9月 工事契約 : 令和5年10月～令和6年9月	
個別審査案件	6件	○議事 物品・役務・工事等契約の審査について 《経営管理課分》 ①医学部医事課(西側)什器 ②佐賀大学医学部附属病院患者給食業務一式 《企画管理課分》 ①佐賀大学(鍋島1他)院生・臨床研究棟(Ⅲ期)等改修(建築)設計業務 ②佐賀大学(本庄町1)体育館改修工事 《経理調達課分》 ①教育用電子計算機システム一式 ②佐賀大学機械警備一式 《その他》
一般競争入札方式	5件	
最低価格方式	3件	
総合評価方式	1件	
価格交渉方式	1件	
指名競争入札方式	0件	
最低価格方式	0件	
総合評価方式	0件	
随意契約方式	1件	
企画競争	0件	
公募	0件	
簡易公募	1件	
競争性のない随意契約	0件	
不落随意契約	0件	
その他	0件	
フォローアップ案件	0件	
事前審査案件	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の内容	なし	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>物品・役務・工事等契約の審査について</p> <p>《経営管理課分》</p> <p>① 医学部医事課（西側）什器 【一般競争入札（最低価格落札方式）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応札3者のうち2者が辞退されているが、理由は把握されているか。 ・ 仕様書はどのように作成しているのか。 ・ 予定価格の算出にあたって、定価と同等品の他大学納入実績を調査した結果と入札の意思表示があった業者から参考見積書を徴収し、結果的に参考見積額を予定価格としたということか。 ・ 今回応札者は1者だけですが、3者の場合はどうなるか。 ・ 見積額が高い場合は、試算額を予定価格とするが、入札時に高い金額で入札があった場合は、金額を考慮するか。 ・ 1者入札ではなく複数入札でもおかしくない内容に見えるが、何か支障があって1者入札となったのか、把握されている事情、推測があれば教えていただきたい。 ・ 他のメーカーが選択としてありうるような、特殊な内容、仕様ではないという理解でよいか。 	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様に合致している商品が提案できないということで辞退したと聞いている。 ・ 現場でほしいものを想定し、ある程度のものを決めておいて、そこをベースに医事課で検討した寸法、収納数、棚の数、机の数・サイズをもとに仕様を決めている。 ・ 同メーカーの同等品の他大学納入実績を調査し、値引き率をもとに、提案があったものの定価とその値引き率で試算したものと、業者が提案したものの参考見積書を徴収し、比較して安価なほうを予定価格としている。 ・ 3者から見積もりを取って、一番安価なものを採用している。 ・ 予定価格で入札を行うので、金額を考慮していない。 ・ メーカーを指定、絞り込むような仕様にはなっていない。今回辞退した2者からも他のメーカーで提案があったが、寸法等の仕様と合致していないものがあった。また、いろいろな幅広い提案をいただけるような形で申し込みがあった業者とはやり取りしている。 最終的には、メーカーが価格を出し切れないのか、どのような形で仕入れをしているのかわからないが、会社として取り扱いやメーカーとの付き合いもあると思うので、提案できるメーカーがないなど、複合的な事情でこういう形になったと考える。 ・ 今回再整備ということで、部屋の広さがかなり限られたこともあり、広さの兼ね合いで仕様を検討している。再整備の中で、他の契約の時はオカムラではない

<p>② 佐賀大学医学部附属病院患者給食業務 一式 【一般競争入札（価格交渉落札方式）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格に対して契約金額が100%となっているが、業者と価格交渉する際に、数量、単価をオープンにしているか。 ・ 前回と同じ業者が契約相手となっているが、他者が参入する余地はないのか、調査やなにか努力されていることがあれば教えていただきたい。 ・ これまでの契約状況がわかれば教えていただきたい。 ・ 価格交渉する時点で、応札業者は1者入札であることをわかっていたのか。 ・ 何者入札かわからずに価格交渉してみたところ、最初からあまり応じませんという感じだったのか。 ・ 価格交渉落札方式は複数入札があったときに有効というイメージか。 ・ 価格交渉落札方式はどのような案件の時に採用するのか。 	<p>メーカーが手を挙げられたというのも過去の担当者から聞いている。</p> <p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書、仕様書付随の実施要項に想定される数量を示しており、それをもとに業者で試算していただいた金額で応札していただいている。今回は応札業者の参考見積を予定価格として採用しているので、落札率が100%となっている。また開札後に予定価格の範囲内であれば価格交渉を行うが、それ以上は難しいということで辞退された。 ・ 仕様上特殊な業務ではなく、一般的な患者様に給食提供する業務、ほかの病院行けば他の業者も入っている業務なので、1者しか入れないということはないと考える。また業者にも声をかけてるが、人手不足の問題もあって複数者が手を挙げられることが少ないのが現状である。 ・ 10年程前、病院給食業務全体を別の業者と契約していたが、途中でうまくいかなくなり、食材は大学で調達、調理のみ業務委託することになった。今回別の業者から資料の取り寄せがあり辞退されたが、別の業者が入ってくる可能性はゼロではないと考える。 ・ 業者には公表していないのでわかっていない。 ・ 開札の場で1者入札であることはわかるが、その後3日間の交渉期間で、今回は人件費的に価格交渉が難しいとのことで辞退された。1者入札でも価格交渉し値下げってもらうことはある。 ・ 複数入札の場合、一番低い金額を入札しなかった業者にもチャンスがあり、どうしても落札したい場合、金額を下げてくることがあり、特に効果があると考えられる。 ・ 規程はないが、学内での取り決めで1000万円以上の契約としている。納期を急いでいるなど時期によっては、最低価格落札方式を採用することもあるが、基本的には価格交渉落札方式を採用している。
---	--

<p>・価格交渉の順番を教えてください。</p> <p>《企画管理課分》</p> <p>① 佐賀大学（鍋島1他）院生・臨床研究棟（Ⅲ期）等改修（建築）設計業務【プロポーザル方式（簡易公募型（拡大））・環境配慮型】</p> <p>・最終的には4者から技術提案書が提出されたところがあるが、その中から1者を選んだ選定方法について教えてください。</p> <p>・建設コンサルタント選定委員会の委員構成を教えてください。</p> <p>・22回入札を行っているが、予定価格はどのように算出しているのか。</p> <p>・着手時期が2月29日、完了期限が3月31日と一か月くらいしかないが、繰り越しかないかあったのか。</p> <p>・配点の部分で評価要素を業者に伝えているのか。</p> <p>② 佐賀大学（本庄町1）体育館改修工事【一般競争入札（実績評価型総合評価落札方式）】</p> <p>・落札率78%と低い数字になっているが、予定価格の積算に問題があったとは考えられるか。</p>	<p>・例えば3者入札の場合、1者が予定価格より低い金額を出した場合に、2番手の入札金額の高いほうの業者から交渉し、1番手より安い金額で入札を行う。</p> <p>（契約部署より契約の概要説明が行われた。）</p> <p>・「技術提案書の提出を求める者を選定するための基準」に基づき総合的に評価して1者に選定している。</p> <p>・財務施設担当理事（委員長）、学外の学識経験者（県職員）、財務部長、環境施設部長の4名で構成されている。必要がある場合はさらに1人加えることができる。</p> <p>・本学の積算は「官庁施設の設計業務等積算基準」に基づいて算出している。この方法は一般公開されているので、応札者もわかっている方式だと考える。 今回プロポーザル方式で見積り合わせの形になるので、業者がなるべく高い金額で落札したいとのことで、金額を高め設定しているのではないかと考える。プロポーザル方式の場合、回数の制限はないので、1回目から次の応札に応じますかということが続けて行く中で、それに対して応じますという回答が続いた結果が22回である。</p> <p>・5年度補正予算の関係で単年度契約となり、承認されたらいつまで延長すると事前に提示している。</p> <p>・公告の時に配布している入札説明書に記載している。</p> <p>（契約部署より契約の概要説明が行われた。）</p> <p>・予定価格は公共工事の積算基準に基づいて適切に積算している。応札者から提出された工事費内訳明細書を確認したところ、各者に共通していた部分は、共通費（経費）が本学積算より安く設定されており、この部分は企業努力によるところが大きいと考える。また</p>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月に完成予定とあるが順調に完成して、当初の価格から上振れることもなく進んでいるという理解でよいか。 ・競争参加資格の設定は、本来であればB等級以上が妥当であるが、競争性を高めるためにC等級まで下げられているが、どのような判断でだったのか。 ・品質の確認は何か行っているか。 ・屋根や床板の材料が安く仕入れられるとのことでしたが、大学で仕様はあるか。 ・低入札ということで、現場では中間検査を何回か増やすような形をとっているか。 ・工事費が高騰しているということでしたが、公共工事単価はそれに追いついて上がっているのか。 	<p>落札者の内訳書を細かく見ると、面積の大きい屋根や床の材料単価が安価に設定されており、低入札の価格調査において聞き取りを行ったところ、材料単価については10年以上付き合いのある業者から比較的安価に入手できるということでこの金額で応札したという話があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのような理解でよい。 ・文部科学省のルールにおいて、臨時的な参加資格要件として、二級上位および一級下位を加えることができると定めており、今回C等級まで加えたのは大学が判断したものである。昨年までの契約監視委員会の中でも、参加者不足という指摘があり、1者応札や不調に終わった事例が続いていたので、そういったものを改善していきたいということで、緩和しているところである。病院地区など非常に技術力がある工事については、慎重に判断して、実績やさらに厳しい条件を付けることがあるが、今回体育館ということで、難しい工事でもないこと、学生のエリアと区画をきっちり取れることもあるので、管理の中においても一般的にC等級であればできるのではないかとということで、委員会にかけて了承を得た状況である。 ・低入調査時に大学の設計に基づいて金額を算出しているか、下請けいじめになってないか、施工の管理体制、安全管理体制、保険加入状況も確認している。また現場において、施工体制台帳を作らせており、その中で下請け業者を確保できているか、契約できる状況であることを確認し、現在のところ順調に進捗している。 ・図面に明確に指定している。 ・低入札だからということで現場の管理体制を強化するというはやっていない。ほかの現場同様、しっかり管理している。 ・予算自体は毎年基準の単価は10%くらい上がってきている。実際の工事の入札に関しては、発注時期や工事内容で応札される業者さんの金額が大学の積算より変わってきている。人材確保が難しいとのことで、人数を多く要する工事については、大学積算より高めに出てくる傾向である。
--	---

<p>・積算の単価が時代に合わせて上がっている中で、4者が低い金額で入札された状況だと考えられるが、4者とも経費を抑えているのは、例えば時期だったりするのか、どういう事情なのか分かれば教えていただきたい。</p> <p>・県で低入札の場合は、現場の管理を密にしたり、最後の検査で明細書を提出させたり厳しく確認しているが、最終的に品質が問題だと思うので、低入札になったときは少し現場のほうで最後に検査等を入念にやられたほうがいいのかなど考える。</p> <p>《経理調達課分》 ① 教育用電子計算機システム 一式 【一般競争入札（政府調達）（最低価格落札方式）】</p> <p>・落札率 83%と低くなっているが、予定価格の算出は適正であったと考えているか。</p> <p>・予定価格は積み上げでしたけれども、契約金額と予定価格の乖離の交渉は特にしていないという理解でよいか。</p> <p>・仕様書は、応札者からもらっているのか、それとも大学で作成しているものか。</p> <p>・仕様書に基づいて応札者から参考見積書が出されたという理解でよいか。</p> <p>・結果的に入札は一回だけで、参考見積額より低い金額となっているが、そこに交渉があったわけではないか。</p> <p>・入札時は、1者入札とはわからず、複数入札かもしれないという状況であったか。</p>	<p>・公共単価は、実際の価格高騰に追いついていない低い単価設定であると考え。</p> <p>また公共単価とは別で業者に見積を取る作業があるが、体育館は屋根も床も広い工事なので、金額がよめないところである。単純に業者に見積を取った金額と、それを下請けとして使う業者との間に乖離があるのではないかと考える。</p> <p>今回は発注時期を早めに設定し、4者入札だったので競争が働いた中で落札したい業者がかなり下請け業者と交渉したのではないかと考える。また市場の状況を見ると、見積を取る作業において、業者も元受けから強く言われたときのために高めに設定している状況もあるのではないかと推測される。</p> <p>・低入札になったときの現場管理体制については、ご指摘いただいたの通り検討が必要であると考えてるので参考にさせていただきたい。</p> <p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <p>・予定価格は、物価資料等を用いて算出しているので、特に予定価格自体が高くなっているということはないと考える。</p> <p>・そのような理解でよい。</p> <p>・大学で作成している。</p> <p>・そのような理解でよい。</p> <p>・参考見積額を高く設定しているようなので、なにかしら交渉はあったと推察される。</p> <p>・1者か複数かの情報は業者には提供しないので、複数者を想定して入札されたということも考えられる。</p>
---	--

<p>②佐賀大学機械警備 一式 【一般競争入札（最低価格落札方式）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 役務契約になるが、最低価格の設定に制限はないのか。 ・ 契約名が機械警備とあるが、機械の設置みたいなものがあるのか。 ・ 短い期間よりもある程度長い期間にしたほうが金額を抑えられるのか。 ・ 条件は5年で設定されて金額が低くなるような形でされているが、かなり金額を下げて入札された感じか。 	<p>(契約部署より契約の概要説明が行われた。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の案件については、制限は設けていない。 ・ 入口・扉にセンサーを設置して、建物に入ったときに鍵をあけてドアを開けたら、センサーが作動して、一定時間内に警報器を専用のキーで解除する作業をしないと警報が鳴って警備会社に警報が飛ぶといった設備があり、そういう意味での機械警備という形になっている。 ・ 以前契約していた業者に確認して、1・3・5年の契約パターンで5年契約が安いということだったので、5年で検討した。 ・ 物価高騰もあったので前回の金額より少し上がっているところもあるが、結果的には前回の業者だったので、そのまま機器を使用するということが影響していると考ええる。ただ同じ業者と契約しているのではなく、以前は別の業者と契約していた。
--	---